



瀬田南  
瀬田のSと南のMを表し  
手を広げた健康的なイメージ

# 瀬田南の福祉

令和5年2月1日

No.50号

瀬田南学区

社会福祉協議会



地域の老若男女の誰もが世代を超えて、心の繋がりを感じられるそんな瀬田南でありたい。大津のボランティア団体主催の川柳募集で入選された瀬田南地区の75歳のじいじさんの川柳を紹介します。「ちょっとしたあいさつ嬉し地域の和」です。

学校から帰ってこられる小学校低学年の子どもさんに、そのじいじさんが大きな声で「お帰り！」と声をかけると「ただいま！」と大きな声が返ってくる。それだけのことがとてもうれしい。また、じいじの家の前を若いお母さんと幼稚園児らしき子が通るとじいじが「こんにちわ！」と声を掛けると、園児の「こんにちわ！」と、それにつられて、お母さんの「こんにちわ！」の大きな声。中には声掛けを無視されることもあります。挨拶のキャッチボールができた時はたまたま嬉しいものです。あいさつと言えば、スクールガードの方々も、登校の時と、下校の時に子どもたちに声掛けしています。前回の「大津こころのきずな作文募集」の優秀賞になった瀬田南小の子どもたちの気持ちには感激しました。

**地域の和で大事なことは、目配り、気配り、心配りだとよく言われます。「目配り」とは**いろんなところに注意を行き届かせ、細やかなところまで気づくことです。「**気配り**」とは少し先を考え、あれこれ気を使うことです。思いやりでもあります。「**心配り**」とは、相手の立場になって考えて行動することです。相手を思い、何をしてあげれば喜ぶかなど、相手の心に寄り添い行動をすることで、相手に感動を与えることに繋がります。気配りよりさらに相手のことを思って行動することです。でも本当にもっと大切な事は「**言葉配り**」。**前の3つの配りは当たり前、そこからどんな配りができるかが重要なのです。**

## 「スクールガードさんは僕らのヒーロー」

僕の地域のスクールガードさんはすごい。僕が1年生の時からずっと登下校に付きそってくれたり、安全に道を渡らせてくれたりします。僕の通学路では去年の9月に大木がたおれ、通行止めになりました。道が通れるようになるまで4か月間、遠回りをしての登下校に毎日一緒に歩いてくれました。片道1時間もかかって嫌になりそうになったけれど、いつもスクールガードさんが話しかけてくれるので、1日も休むことなく学校に行くことができました。下校の最後の生徒たちは人通りが少なくなりますが、スクールガードさん達が待っていてくれるのでこわくありません。熱中症が心配なくらい暑い日でも、大雨、大風、雷の日も、僕らの通学路に立って僕らを守ってくれています。普段は照れてありがどうも、挨拶もうまく言えないけれど、本当はとても感謝しています。日に焼けたスクールガードさんはとてもかっこいい。僕らのヒーローです。



## 令和4年12月1日に厚生労働省から委嘱された瀬田南民生委員児童委員の方たちを紹介します

少子・高齢化が進み、家庭関係や地域社会における繋がりが薄れてきているなかで住民同士が支えあい、誰もが安心して住み続けることができる地域づくりが求められています。こうしたなか、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助などを行う民生委員児童委員の役割がますます重要になってきています。

民生委員児童委員は、広く社会の実情に通じ、社会福祉の増進に熱意のある住民が、地域から選ばれ活動します。

民生委員児童委員の役割は「**地域のつなぎ役**」です。

民生委員児童委員は、厚生労働大臣から委嘱を受け、それぞれの地域で住民の立場に立ってさまざまな相談を受けたり、関係機関との連絡を取り、困りごと等の解決を支援する活動を行っています。

- ・生活上のさまざまな相談を受けます
- ・地域をいつも見守っています
- ・福祉サービスの情報提供をします
- ・関係機関や各団体につなぎます

その他、地域福祉の推進に協力します。

また、災害福祉マップの作成、自然災害などから、住民を守る取り組みを関係団体と協力して進めます。



担当地域	氏名	新任
西河原、横町、橋本中央	寺田 政博	
東河原	目方 弘美	*
蛸田	野村 悦子	*
橋本本町、下南浜	村田 全弘	
上南浜	吉田 勝美	
中南浜	神崎 宗明	
瀬田新緑苑	島田 美子	
東新緑苑	服部 直美	
水天宮、椿ハイツ、ジヨウカン、リバーサイド、サンハム瀬田	下村 力	*
瀬田川新緑苑、グランドコート、セトルコート唐橋	小柳 雅恵	
杉谷、篠部	村田 洋一	
神領本町、神領北町	林 美津雄	*
神領元町	寺田 実	
神領下宮	嶋田 一恵	
神領中宮	安土 和子	
神領上宮	相川 美加子	
神領上宮	中山 道子	*
神領東宮	城戸 譲二	*
下野郷原	吉川 孝志	*
下野郷原	米納 國重	
上野郷原	越後 浩	*
社人堂	木村 明子	*
三大寺中央、東、富田	菅本 美保	
三大寺北C	有田 恵子	
三大寺西E	森田 久義	
三大寺西、大江三丁目	山本 ひとみ	
松陽、瀬田3丁目	青木 準子	
主任児童委員	河合 早苗	*
主任児童委員	横田 茂	

## 瀬田南地区の総世帯数は6,958戸、総人口は15,335人です。

瀬田南地区の子どもたち(15歳未満は1,892人)の成長に少しでもお役に立ちたいと社会福祉協議会は思っています。社協の寺子屋プロジェクト事業、社協の児童部会、青少年育成学区民会議の方々、瀬田南小学校の先生たち、そして地元の瀬田工業高校の生徒のお兄さん、お姉さんや、地域の福祉法人の皆様に協力をお願いして、子ども達に楽しい催しを届けています。

そしてまた、瀬田南学区は、75歳以上の後期高齢者の方が2,495人(16.3%)になります。その方たちの健やかな長寿を願って「ふれあい給食サービス」、「ふれあいサロンほほえみ」、「グラウンドゴルフ大会」等の催しも定期的実施されています。



学校で、南っ子応援隊のかみしばい



地域の方の指導でバルーンアート、瀬田工のお兄さんによる焼芋づくり



楽しい収穫祭、楽しく食べて、楽しく遊んで。



児童部会のクリスマス会 子ども達に、サンタさんがプレゼント



瀬田南の  
おじいちゃんへ  
おばあちゃんへ  
寒くなってきましたね  
わたしは今、  
勉強をがんばっています  
体を大切にしてください  
元気に暮らしてください  
瀬田南小学校  
三年生より

ふれあい給食サービス、子どもからのメッセージ



ふれあいサロンほほえみ 干支のちぎり絵制作

## 地域福祉推進を図る為、昭和22年に始まった共同募金は本年度で76回目となります。

大津市の共同募金総額(昨年度)は35,615,435円。赤い羽根募金が24,254,619円、歳末助合い募金は11,360,816円。本年度も皆様のご支援を頂きました。

①大津市地域福祉活動、②滋賀県地域福祉活動、③児童青少年の福祉活動や施設支援、④障がい児童の福祉活動、⑤高齢者見守り活動、⑥生活困窮世帯支援等に利用させて頂いております。赤い羽根街頭募金活動をしている時、お母さんと子どもが二人でそれぞれ100円玉を手を持って、「ずっと立ち詰めでご苦労さんです」と言って、微笑みながら、募金に協力していただいた時には、うれしくて思わずウルッとしました。

## 令和4年度赤い羽根募金(大口募金)

(株)パンテック
(株)パンテック社員一同
(有)唐橋自動車工業所
ちかむね動物病院
(株)エスアイシステム
(医)八木歯科
建部大社
(医)加藤内科胃腸科
セゾンラブソ神領店
(有)大家
(株)平岡組
近持信男

(株)寺新鶏肉店
日本料理「一心」
(有)松田造園
(有)エヌシーコーポレーション
奥村管工(株)
(有)「石善」山村石材店
(株)神領製作所
(株)ユニオン工業
「電弘」鈴木保彦
セゾンラブソ瀬田西IC店
寺田 實
丹波理髪店

